

ぬくもりの感じられるまちづくり



【星崎学区】

■世帯数：2,438 世帯

■人 口：5,914 人

■面 積：1.993 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 星崎小学校校庭を会場に「ペタンク大会とふれあいの集い」を開催。子どもから高齢者まで学区の輪を広げる場として参加を呼びかけ、延べ参加者数は約 250 人。
- ・ 屋外でペタンク大会を実施、(雨天時は体育館でのクロリティー大会に変更)。障がい者を含め、年齢層も幅広く参加者を募集する。
- ・ 競技に参加しない人の交流の場としても楽しんでもらえるよう、抹茶のサービスや高齢者疑似体験コーナーで、子どもが疑似装具を付けてのカルタ取りの実施などを行う。
- ・ 学区内の福祉施設で作っているクッキーを購入し、会場にてふるまう。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、学区定例会での PR 実施

【アピールポイント】

子どもからお年寄りまで、学区の輪を広げる仕組みの維持。障がい者支援の一助としている。

2 きっかけ、背景

毎年 3 月を地域福祉推進の月と定め、子どもから高齢者に至る幅広い層の「ふれあいの場」を設けようと事業を開始した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

民生委員児童委員 約 10 人

(2) 他団体との協力

学区内の福祉施設 ゆたか福祉会

4 実施のスケジュール

H24 年 1 月 メンバー会合、役割分担の確認など

2 月 学区定例会での PR

3 月 ペタンク大会の実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 住民間の交流が深まった。
- ・ 高齢者疑似体験コーナーでは子ども達が疑似装具をつけてカルタ取り等を実施し、高齢者とのコミュニケーションのとり方を体験的に学べた。

(2) 苦労した点

- ・ 住民の理解を得ること。
- ・ 障がい者チームについて同一町内のチームと対戦するように組み合わせし、子ども会のチームには投げ方のコツを指導した。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 高齢者の参加が多く、傷害保険に加入する必要がある。
- ・ 雨天時のクロリティー競技用具の調達予算が必要である。

